

寅年の今年も平和でありますように！

寒中お見舞い申し上げます

「アトリエ・ゆう」と「ゆうの樹」を
今年も どうぞ よろしくお願ひします。

今年の元日は風もなく晴天でしたが、寒さが厳しく厚手の手袋でも感覚がなくなるくらいの冷たさでした。6時40分、今年も近くで初日の出を拝もうと万全の防寒着で出かけました。毎年、寒さが厳しくなると思うのは私だけでしょうか。

特別、高い所でもないのだから遠くの木々の間から明るい光が見えたのは7時2分でした。人も車も通らない静けさの中でパッと明るい陽射しに思わず手を合わさずにはいられませんでした。

この太陽に全世界の人々や生き物たちが恵みを受けて生存していることに「世界は一つなんだなあ！」と改めて思った瞬間でした。そして 近くの氏神様とお寺に参拝して帰りました。

世界は一つで果てしなく広いけれども、年の暮れに届いた一枚の絵手紙に心が喜ぶ気がしています。

一期一会

たったひとりのあなた

たったひとりのわたし

出会えたのってすごいこと

35年目になるアトリエ・ゆうの活動もこんな気持ちで新たな出発ができることを願っています。

一方、埼玉県を含む13都県で1月21日から2月13日まで、コロナの変異株「オミクロン株」の拡大で「蔓延防止等重点措置」が開始されている現況があります。

アトリエ・ゆうは**不登校や引きもりの親や子を支援している非営利団体**です。ですから、こんな時こそ、居場所を開くことができたらいいののに、との思いはありますが、慎重にせざるを得ない状況にあります。去年は学習会、蚤の市などの活動は中止してきましたが、個別での相談は常時ネットで受け付けました。

また、去年の新年号に申請中と書きましたが、助成金を受けることが出来、「大

人カフェ」～食べて、話して、つながろう～を6月から毎月第4土曜日に開催しています。一人でも、親子でも、どんな世代の方でもお待ちしております。

さいたま市社会福祉協議会とゆうの樹の後援をいただきましたので、10地区の社会福祉協議会や障害者自立支援センターなどにも、チラシを配布することが出来ました。お陰様で、少しずつですが広がりが見られる事は有難いです。また アトリエ・ゆうのホームページも青年が担当していますので、どうぞご覧ください。

不登校については、小中学生の相談や、ネット、電話での居場所の問い合わせはありますが、現在、アトリエ・ゆうに来ている人たちは青年になり、学校との関係が薄くなっています。そこでアトリエ・ゆうも加入している「**ぷらっとほーむ～さいたま不登校ネットワーク**」の活動を紹介させて頂き、行政の動きをお知らせします。ネットワーク代表の加藤文子さんは埼玉県社会教育委員・生涯学習審議会の委員を受けて現場の声を届けてくださっていますので、要約してお知らせします。

「社会教育の課題として不登校を取り上げて頂けたことは何より重要だと、いうこと。委員会のなかで、2016年12月に成立した教育機会確保法の話、文科省の調査は学校側が調査した資料で実態に合っていないことが多く全ての子が一律に同じことをすることに限界はないのか？などの疑問をなげかけた。不登校当事者は学校と対立ではなく、お互いに理解していくことを模索したい、等々」

新しい話題として、来年度からさいたま市に「**不登校支援センター**」がオープンする（1月13日の読売新聞掲載）とのこと。学校には行かれないけどオンラインで授業が受けられて出席扱いになる。

NPO 法人ゆうの樹は精神障害の方の支援事業として、メンバーさんとコストリカ産コーヒーの製造販売・古書販売・水耕栽培・喫茶店などを継続していきます。コロナ感染が拡大のため、メンバーさんの在宅ワークを増やして、事務所が密になりすぎないように工夫しています。

「アトリエ・ゆう」の活動資金は会費、支援会費、寄付と乾燥こんにゃく、コーヒー、市田の干し柿、三陸のワカメなどの販売です。

年2回の蚤の市はスタッフの状況も変わり、難しくなっていました。でも、お陰様で多くの方々のご支援を頂き、誰でもが気軽に集える居場所として細々ながら継続できています。コロナだけではなく、思わぬ自然災害もあり本当に不安なことが多くあり、落ち込んでしまいます。

こんな時だから、会えなければ、電話でも、メールでも自分の存在を確かめられる拠り所として、アトリエ・ゆうの活動が続いていくことを切に願っています。「明けない夜はない」といいます。

「あの人はどうされているかなあ！」と今まで出会った人たちのことを思う新年でもあります。

皆さまのご健康と明るい未来を願って、今年もどうぞよろしく願いいたします。

本居 麗子

市田柿

この冬も荒井農園さんのご協力で無燻蒸の干し柿を取り扱うことが出来、12月23日に袋詰めを行いました。

無理な納期に対応してくださり、昨年大変だったシール貼りを担ってくださった荒井農園さんに感謝です。

また、年末の多用にも拘わらず、お手伝いに来てくださった方々ありがとうございました。帽子、手袋をして、口数も少なめに、午前中2時間ほどで一気に終わりました。

沢山の方々が干し柿を楽しみにしてくださり、お買い上げいただきました。

アトリエ・ゆうの大切な資金源です。ご協力本当にありがとうございました。